

# 監督会議資料(夏季大会)

平成30年8月25日(土) 9:00～ 場所:ステージ上

1. 選手変更及びミスプリント、選手の棄権について  
団体戦3名の学校 男子・・・須崎、中村 女子・・・該当なし
2. 競技規則について
  - (1) ルールは、現行の日本卓球ルールを適用する。
  - (2) 接着剤の使用は、所定のラバー貼替所(1Fの体育館入口)でのみ許可する。
  - (3) 学校対抗戦ならびに個人戦ダブルスにおいては、ユニフォームを統一すること。
  - (4) タイムアウトは、全試合適用する。
  - (5) アドバイザーは裏面の一覧表参照。
  - (6) ポイント決定後の次のサービスやレシーブについては、速やかに行うこと。
  - (7) ラケット検査については、適宜行う。
  - (8) 足拭きタオルの使用については、タオル使用の6ポイントごととし、競技継続の妨げとならないようにする。また、副審側の自分の領域に(机の横付近で競技の妨げとならない場所)ビニールを敷いてその上に置く。
3. 競技の進行について
  - (1) 25日(土) 学校対抗予選リーグ→学校対抗決勝トーナメント13:00(予定)→  
学校対抗決勝までとダブルス、団体戦の敗者試合  
**※ただし、ダブルスは11:00より試合可能などころから入れていく。決勝トーナメントと並行して入れていく。(ダブルス最終コール16:00予定、男子ベスト8、女子ベスト4決定を目標)**  
**※団体戦の敗者試合は男女とも、決勝トーナメントに進めなかったチームで行う。**  
26日(日) ダブルス決勝まで、シングルス決勝まで  
**※シングルのコンソレーションを行う。抽選は当日会場で行う。**  
**ただし、敗者試合(団体・シングルス)は試合進行等によっては、行わない(打ち切る)場合もあり得る。(17時を目途)**
  - (2) 学校対抗戦の予選リーグ及び決勝トーナメントは2コートを使用する。
  - (3) 試合順序(学校対抗)
    - ①3チームのリーグ戦  
第1試合 2-3  
第2試合 1-(第1試合の敗者)  
第3試合 1-(第1試合の勝者)
    - ②4チームのリーグ戦  
第1試合 1-4、2-3  
第2試合 (1-4の勝者)-(2-3の敗者)、(1-4の敗者)-(2-3の勝者)  
第3試合 残りの試合
  - (4) 試合は全て3点先取とする。
  - (5) 学校対抗戦は、A、Bグループからは1・2位チームが、その他のグループは1位チームが決勝トーナメントに進出する。
  - (6) 26日(日)の朝は、競技に先立って学校対抗の部の表彰を行う。
4. 審判について
  - (1) 学校対抗の部
    - ①予選リーグ: 3チームのリーグ: 試合を行っていないチームが審判をする。  
4チームのリーグ: 相互審判
    - ②決勝トーナメント: 各コート初戦は相互審判、その後は敗者審判で行う。
  - (2) 個人戦の部
    - ①各コートの第1試合は、相互審判で行い、その後は敗者審判とする。
    - ②勝者は、試合結果を進行席へ報告し、敗者はコートに残って次の試合の審判を行う。
5. その他
  - (1) 水分補給等の体調管理をしっかりすること。(くれぐれも無理をしないこと)
  - (2) 試合進行に協力すること。(試合の打ち切り、棄権等になる場合もあります。)
  - ①ベンチコーチ1分 ②コール後5分以内に試合開始 ③試合後速やかに勝者は本部へ結果報告
  - (3) 練習について 8月25日(土) **8:30～9:20**  
8月26日(日) **8:30～9:20**
  - (4) 開会式(26日9時30分)は、各校1列縦隊で整列すること。
  - (5) 貴重品の管理、ゴミの処理、上下靴の区別は、各校で責任をもって行うこと。
  - (6) 体育館の開場は、**8時30分**です。
  - (7) ベンチコーチは、団体戦、個人戦共に1名のみとし途中交代はできない。